



## REFINITIV LIPPER FUND AWARDS

2023 WINNER  
JAPAN

# 「リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワード・ジャパン 2023」 最優秀会社賞、最優秀ファンド賞 受賞

アムンディ・ジャパン株式会社

アムンディ・ジャパン（東京都港区、代表取締役社長：ローラン・ベルティオ）は、「リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワード・ジャパン 2023」において、最優秀会社賞、最優秀ファンド賞をそれぞれ下記のとおり受賞いたしましたので、お知らせいたします。

➤ **最優秀会社賞** アムンディ・ジャパン株式会社 投資信託 ミックスアセット部門

➤ **最優秀ファンド賞**

ファンド名	評価期間	リップパー分類
<a href="#">アムンディ・サステナブル・インカム・ファンド</a> (愛称：みらい定期便 <sup>®</sup> )	3年	ミックスアセット 日本円 フレキシブル型
<a href="#">アムンディ・りそなアセアン・ファンド</a> (愛称：メコン)	3年 5年	株式型 ASEAN

**アムンディ・サステナブル・インカム・ファンド（愛称：みらい定期便<sup>®</sup>）**は、人生100年時代を迎えるにあたり、退職後にも定期的な収入を得たい、また長寿に備えてなるべく資産を維持したいというニーズにお応えするため、2019年8月に設定、運用を開始しました。米国において退職後のインカムニーズへのソリューションとして10年以上の運用実績を有する戦略を用い、投資信託財産の成長を図りながら、安定的かつ持続的（サステナブル）な分配金を、原則として、提示した目標分配額に基づきお支払いするよう設計したファンドです。詳しくは当ファンドの特設サイトをご覧ください。

[https://www.amundi.co.jp/fund/focus/teikibin\\_LP.html](https://www.amundi.co.jp/fund/focus/teikibin_LP.html)

**アムンディ・りそなアセアン・ファンド（愛称：メコン）**は、アジアの一大経済圏として世界から注目され、持続的な発展が期待されるアセアン諸国（東南アジア諸国連合）の株式等に投資するファンドを主要投資対象とし、中長期的な信託財産の成長を目指すファンドです。詳しくはファンド情報のページをご覧ください。

<https://www.amundi.co.jp/fund/100013.html>

アムンディ・ジャパンはこの受賞を糧に、今後も長期的な観点でお客様の資産形成の一助となるよう、引き続き資産運用のソリューションとなる商品開発および提供に努めてまいります。

**販売会社（五十音順）**

アムンディ・サステナブル・インカム・ファンド (愛称：みらい定期便®)	アムンディ・りそなアセアン・ファンド (愛称：メコン)
株式会社 SBI 証券 株式会社埼玉りそな銀行 百五証券株式会社 株式会社みなと銀行 楽天証券株式会社 株式会社りそな銀行	株式会社関西みらい銀行 株式会社埼玉りそな銀行 株式会社りそな銀行

リフィニティブ・リップper・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。選定に際しては、「Lipper Leader Rating（リップper・リーダー・レーティング）システム」の中の「コンシスタント・リターン（収益一貫性）」を用い、評価期間 3 年、5 年、10 年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップper・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、[lipperfundawards.com](http://lipperfundawards.com) をご覧ください。Refinitiv Lipper は、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

**アムンディ・サステナブル・インカム・ファンド（愛称：みらい定期便®）**

**投資リスクについて**

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として株式や債券など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります）に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません**。ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割込むことがあります**。ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク、デリバティブ取引に関するリスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因（投資リスク）はこれらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還や流動性リスクに関する留意事項等があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

**手数料・費用等**

**<投資者が直接的に負担する費用>**

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。詳しくは販売会社にお問合せください。	
	料率上限(本書作成日現在)	役務の内容
	1.1%(税抜1.00%)	商品や関連する投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務コストの対価として販売会社にお支払いいただきます。
信託財産留保額	ありません。	

<投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用>

運用管理費用 (信託報酬)	ファンド	<p>信託報酬の総額は、投資信託財産の純資産総額に対し<b>年率0.88% (税抜0.8%)</b>を乗じて得た金額とし、ファンドの計算期間を通じて毎日、費用計上されます。</p> <p>【信託報酬の配分】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支払先</th> <th>料率(年率)</th> <th>役務の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託会社</td> <td>0.15% (税抜)</td> <td>ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>0.62% (税抜)</td> <td>購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>0.03% (税抜)</td> <td>ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価</td> </tr> </tbody> </table> <p>【支払方法】 毎計算期間末または信託終了のときに、投資信託財産中から支弁します。</p>		支払先	料率(年率)	役務の内容	委託会社	0.15% (税抜)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価	販売会社	0.62% (税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価	受託会社	0.03% (税抜)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価
		支払先	料率(年率)	役務の内容											
		委託会社	0.15% (税抜)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価											
		販売会社	0.62% (税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価											
受託会社	0.03% (税抜)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価													
投資対象とする 投資信託証券	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>料率(年率)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Amundi Funds パイオニア・インカム・オポチュニティーズ</td> <td>0.70%</td> </tr> <tr> <td>CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)</td> <td>0.385% (税抜0.35%)以内</td> </tr> </tbody> </table>		名称	料率(年率)	Amundi Funds パイオニア・インカム・オポチュニティーズ	0.70%	CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)	0.385% (税抜0.35%)以内							
	名称	料率(年率)													
Amundi Funds パイオニア・インカム・オポチュニティーズ	0.70%														
CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)	0.385% (税抜0.35%)以内														
実質的な 負担の上限	<p>純資産総額に対して<b>年率1.58% (税込)*</b></p> <p>※ファンドの信託報酬年率0.88% (税込) に投資対象とする投資信託証券のうち信託報酬が最大のもの(年率0.70%)を加算しております。ファンドの実際の投資信託証券の組入状況等によっては、実質的な信託報酬率は変動します。</p>														
◆上記の運用管理費用(信託報酬)は本書作成日現在のものです。															
その他の費用・ 手数料	<p>その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用</li> <li>・信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。)</li> <li>・投資信託財産に関する租税 等</li> </ul> <p>※その他、組入投資信託証券においては、ルクセンブルクの年次税(年率0.01%)などの諸費用がかかります。</p> <p>※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。</p>														

◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

## アムンディ・リそなアセアン・ファンド (愛称：メコン)

### 投資リスクについて

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として外国株式など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクがあります)に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません**。ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割込むことがあります**。ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。

なお、投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、アセアン諸国の株式等への投資に関するリスク(カントリーリスク)、為替変動リスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因(投資リスク)はこれらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、株価連動債券に関する留意点、流動性リスクに関する留意事項等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

## 手数料・費用等

### <投資者が直接的に負担する費用>

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。詳しくは販売会社にお問合せください。	
	料率上限（本書作成日現在）	役務の内容
	3.3%（税抜3.0%）	商品や関連する投資環境の説明および情報提供等、ならびに購入に関する事務コストの対価として販売会社にお支払いいただきます。
信託財産留保額	ありません。	

### <投資者が信託財産で間接的に負担する費用>

運用管理費用 （信託報酬）	ファンド	<p>信託報酬の総額は、信託財産の純資産総額に対し<b>年率1.155%（税抜1.05%）</b>を乗じて得た金額とし、ファンドの計算期間を通じて毎日、費用計上されます。</p> <p>（信託報酬の配分）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支払先</th> <th>料率（年率）</th> <th>役務の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託会社</td> <td>0.30%（税抜）</td> <td>ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>0.70%（税抜）</td> <td>購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>0.05%（税抜）</td> <td>ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価</td> </tr> </tbody> </table> <p>信託報酬は、毎計算期間末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。</p>	支払先	料率（年率）	役務の内容	委託会社	0.30%（税抜）	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価	販売会社	0.70%（税抜）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価	受託会社	0.05%（税抜）	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価
	支払先	料率（年率）	役務の内容											
	委託会社	0.30%（税抜）	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価											
販売会社	0.70%（税抜）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価												
受託会社	0.05%（税抜）	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価												
投資対象とする投資信託証券	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>料率（年率）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JPMorgan Fundsー アセアン・エクイティ・ファンド（1クラス）</td> <td>0.91%以内</td> </tr> <tr> <td>CAマネーブルファンド（適格機関投資家専用）</td> <td>0.385% （税抜0.35%）以内</td> </tr> </tbody> </table>	名称	料率（年率）	JPMorgan Fundsー アセアン・エクイティ・ファンド（1クラス）	0.91%以内	CAマネーブルファンド（適格機関投資家専用）	0.385% （税抜0.35%）以内							
名称	料率（年率）													
JPMorgan Fundsー アセアン・エクイティ・ファンド（1クラス）	0.91%以内													
CAマネーブルファンド（適格機関投資家専用）	0.385% （税抜0.35%）以内													
実質的な負担の上限	<p>純資産総額に対して<b>上限年率2.065%（税込）*</b></p> <p>※ファンドの信託約款に定める信託報酬（年率1.155%（税込））に組入投資信託証券のうち信託報酬が最大のもの（年率0.91%）を加算しております。ファンドの実際の投資信託証券の組入状況等によっては、実質的な信託報酬率は変動します。</p>													
その他の費用・手数料	<p>その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用</li> <li>・信託事務の処理等に要する諸費用（監査費用等を含みます。）</li> <li>・信託財産に関する租税 等</li> </ul> <p>※その他、組入投資信託証券においては、ルクセンブルクの年次税（年率0.01%）などの諸費用がかかります。</p> <p>※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。</p>													

◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

## ファンドに関する照会先

委託会社の名称：アムンディ・ジャパン株式会社

ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

お客様サポートライン：050-4561-2500（受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで）

## アムンディについて

欧州を代表する資産運用会社であるアムンディは、世界トップ 10<sup>1</sup>にランクインしており、世界で 1 億を超える、個人投資家、機関投資家および事業法人のお客さまに、伝統的資産や実物資産のアクティブおよびパッシブ運用による幅広い種類の資産運用ソリューションを提供しています。

世界 6 つの運用拠点<sup>2</sup>、財務・非財務のリサーチ能力および責任投資への長年の取り組みにより、アムンディは資産運用業界の中心的存在です。

アムンディは、35 カ国を超える国と地域で約 5,400 人<sup>3</sup>の従業員の専門知識と助言をお客さまに提供しています。クレディ・アグリコル・グループ傘下で、ユーロネクスト・パリ市場に上場するアムンディは、現在、約 270 兆円<sup>3</sup>の資産を運用しています。

### アムンディ 信頼されるパートナー

#### 日々、お客さまと社会のために

公式ウェブサイト：[amundi.co.jp](http://amundi.co.jp)

本件に関するお問合せ先：

アムンディ・ジャパン株式会社 広報室

e-mail：[Amundi Japan PR@jp.amundi.com](mailto:Amundi Japan PR@jp.amundi.com)

直通：050-4561-2565

当資料は、アムンディ・サステナブル・インカム・ファンド（愛称：みらい定期便<sup>®</sup>）およびアムンディ・りそなアセアン・ファンド（愛称：メコン）へのご理解を深めていただくことを目的として、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料です。当ファンドをお申込みの際には投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡しますので、必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。

当資料は、弊社が信頼する情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性について弊社が保証するものではありません。また、記載されている内容は、予告なしに変更される場合があります。投資信託は、元本および分配金が保証されている商品ではありません。投資信託は値動きのある証券等に投資します。組入れた証券等の値下がり、それらの発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により損失を被ることがあります。したがって、これら運用により投資信託に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属いたします。投資信託は預金、保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。

みらい定期便<sup>®</sup>は、アムンディ・ジャパンの登録商標です。

[2759390]

<sup>1</sup> 出所：インベストメント・ベンション・ヨーロッパによる資産運用会社トップ 500 社（2022 年 6 月版、2021 年 12 月末の運用資産額）に基づく

<sup>2</sup> 主要な運用拠点：ボストン、ダブリン、ロンドン、ミラノ、パリ、東京（アルファベット順）

<sup>3</sup> 2022 年 12 月末現在。運用資産額は約 1 兆 9,000 億ユーロ、1 ユーロ=141.47 円で換算